

第六十四回帝國議會
衆議院

恩給法中改正法律案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案

恩給法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年三月九日(木曜日)午後二時三十分
開議

出席委員左ノ如シ

委員長 津崎 尙武君

理事喜多 孝治君 理事宮澤 裕君

理事山杓 儀重君

上原平太郎君 中村 嘉壽君

守屋 榮夫君 川口 義久君

林 路一君 小林 鑄君

匹田 銳吉君 江藤源九郎君

吉田 靱明君 添田敬一郎君

横山金太郎君 後藤 亮一君

同月六日委員八角三郎君辭任ニ付其ノ補闕
トシテ上原平太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

内閣恩給局長 樋貝 詮三君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

陸軍歩兵少佐 佐藤 爲徳君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

恩給法中改正法律案(政府提出)

○津崎委員長 只今カラ開會致シマス、尙

ホ今迄ノ中ニ質疑ノ殘ツタモノガアリマス
ナラバ、此場合ニ其質疑ヲ許シマス——林
君

○林委員 私ハ此場合最後ニ屯田兵ノ問題

ニ付テ當局ニ質シテ置キタイト思フノデア

リマス、先般樋貝恩給局長ノ御答辯ニ依リ

マシテモ、亦陸軍省ノ中井恩賞課長ノ御答

辯ニ依リマシテモ、屯田兵ノ豫備役期間勤

務ノ狀況ト云フモノハ、今日遺サレテ居ル

文書ニ依レバ、其勤務日數ト云フモノハ洵

ニ少イモノデアル、其一例トシテ屯田兵教

育順次教例ヲ御引用ニナツテ居リマスルガ、

此順次教例ニ依リマスレバ、屯田兵現役ノ

勤務時間ハ一日一時間半内外ニ過ギマセ

ス、又隨テ豫備役ニ至ッテハ極メテ僅カナ期

間デアルト云フコトヲ仰セラレテ居リマス

ルガ、是ハ順次教例ニ依リマシテノ勤務ハ

無論此標準デ示サレテアツタカト思フノデ

アリマスガ、併ナガラ恩給法ノ上ニ於テ考

慮スベキ屯田兵豫備役ノ勤務ハ、此順次教

例ニ依リ勤務ノミヲ考フベキモノデハナク

シテ、其他ノ有ユル兵役ニ服シタル所ノ、其

事實ヲ考ヘナケレバナラヌト思フノデアリ

マス、即チ國家ノ爲ニ屯田兵ヲ實際ニ使役
シタ、勤務ニ服セシメタ、其實情ハドウデ
アツタカト云フコトガ、是ガ恩給法ノ上ニ於

テ考慮スベキモノデアルカ、シナクテ宜イ

モノデアルカト云フコトノ結論ノ岐レル所

デアルト思フノデアリマス、私ハ此場合屯田

兵給與令ヲ引用シテ、屯田兵豫備役勤務ガ

全ク屯田兵ノ現役勤務ニ大差ナカッタモノ

デアルト云フコトノ事實ヲ擧ゲテ、茲ニ更

ニ御尋フ致シタイト思フ、屯田兵給與令ニ

依テ見マスレバ、屯田兵ノ豫備役勤務ト云

フモノハ、今日ノ兵役ニ於ケル豫備役トハ

全然其趣ヲ異ニシテ居ッタモノデアルト云

フコトガ明瞭致スデアラウト思ヒマス、此

屯田兵給與令中ニ於キマシテ、豫備役屯田

兵ニ對スル扱ヒ方ヲ申上ゲテ見マスルト云

フト、第一屯田兵下士兵卒ノ被服ハ豫備役

ニアツデモ保續料ヲ各隊ニ交付サレテアツタ

ノデアリマス、又豫備役ノ下士兵卒ニ對シ

テハ現役ト同様ニ被服ノ補修ノ爲メ、毎月

被服補修料ノ定額ヲ定員ニ應ジテ各隊ニ交

付サレテアツタノデアリマス、而シテ愈々後備

役ニ編入セラレマス時ニ於テ、初メテ其豫

備兵ニ給與シテアツタ所ノ被服ハ悉皆返納セ
シメタノデアリマス、又實際ト致シマシテハ兵

村ノ豫備役兵ニ對シテハ豫備歩兵中隊ヲ置カ

レテ居ッタ、此豫備歩兵中隊ニ對シテハ、將校、

下士ヲ配屬シテ居ッタト云フコトハ勿論デア

リマシテ、而シテ日常必要ナル薪炭料及消耗

品ヲ給與サレテ居ッタコトハ、此給與令ニ依

テ明カデアルノデアリマス、而シテ屯田兵給

與金細則中俸給ニ關シマシテ斯様ナ規定ガ

アルノデアリマス「扶助年限滿期ノ下士兵

卒勤務ニ服シタルトキハ日數(六時間未滿

ハ給セス)ニ應ジ給料ヲ給ス」即チ現役ト

豫備役トヲ問ハズ、下士兵卒ハ六時間以上

勤務シタ場合ニ給料ヲ給スル、斯様ニナッ

テ居ッテ、兵卒ハ平時ニ於テ三錢、戰時ニ於

テ一日十二錢デアッタノデアリマス、又豫

備役ニアツデモ「守衛勤務營倉番兵及日直等

ハ勤務翌日ニ涉ルモ一日分ノ外給セス」ト

云フコトニナツテ居リマス「召集六時間未滿

及兵村内ニ於テ演習ノ際天候其ノ他ノ事故

ニ依リ演習ヲ施行セサルトキハ其ノ兵村内

居住ノ者ニハ給料ヲ給セス」ト云フコトニ

シテモ、兵村ニ於ケル豫備役兵ニ對シテノ取扱ハ殆ド現役ト同様デアル、又之ヲ實際當時勤務ヲ致シマシタ者ノ軍隊手帳ノ記載事項ヲ見マシテモ、是ハ私本日手ニ入レタノデアリマスガ、六時間以上勤務シナケレバ俸給ヲ給シナイト云フノデアリマスカラ、實際ニ給與シタ日ハ僅カデアリマス、而モ六時間以上勤務シタ日スラモ、月ニ依リマシテハ給シナイコトガ豫備役ニアッテ、十五日以上モアルノデアリマス、又此以外ニ六時間以内ノ勤務トシテ、全ク給與セラレナカッタコトガ相當日數アルノデアリマシテ、是等ノ事實ヲ綜合致シテ見マスルト云フト、現役ト何等異ナラナイ勤務ヲシテ居ッタモノデアル、隨テ當局ガ單ニ屯田兵ノ教育順次教例ニ依テ、サウシテ其日數ガ豫備役ハ三週間デアルト云フヤウナコトヲ以テ、豫備役屯田兵全體ノ勤務ノ狀況ヲ御推斷ニナルト云フコトハ、全ク事實ニ合ハナイモノデアル、ソコデ更ニ御尋致シタイコトハ、此給與令ヲ通ジテ、政府ハ屯田兵ノ豫備役期間ト云フモノ、勤務狀況ヲ御研究ニナッタコトガアルノデアルカドウカ、又實際給與致シマシタ額ニ依テ、屯田兵ノ勤務狀況ヲ御調べニナッタコトガアルノデアリマスルカドウカ、更ニ斯様ナ勤務ノ狀況

況デアリマシタ所ノ屯田兵ノ豫備役デアリマスルカラシテ、特殊ノ取扱ガシテアッタノデアリマス、其一例ヲ申上ゲマスト云フト、普通ノ兵役ニ於キマシテハ、現役カラ豫備役ニ移リマス際ニ解隊式ヲ行フノデアアルガ、屯田兵ニ限リマシテハ豫備役カラ後備役ニ移リマス際ニ於テ解隊式ヲ行ッタノデアリマス、解隊式ヲ豫備役カラ後備役ニ移ル時ニ初メテ行ッタト云フコトハ、豫備役期間中ハ現役中ト同様ノ服務ノ狀態デアッタト云フコトヲ想像スルコトガ出來ルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ政府ハ以上御質問申上ゲマシタヤウニ、果シテ此實情ニ付テ斯様ナ點ヲモ考慮シテ御研究ニナッタノデアリマスルカドウカ、之ヲ御尋申上タイト思ヒマス

○糧食政府委員

只今給與令ヲ通ジテ、屯田兵制度ヲ研究シタカト云フ御尋ガ第一ノ御尋ノ要點デアッタト思ヒマスガ、固リ給與令モ參酌致シタコトハ事實デアリマスケレドモ、基本トナリマスルモノハ、屯田兵ハドウ云フ勤務ヲ爲スベキカト云フコトニ關スル法令ノ方ガ重要デアリマスルカラ、專ラソレヲ標準ニ取りマシテ判定ヲ加ヘタ次第デアリマス、又實際ドウ云フ勤務ヲシタカト云フコトニ付テ考慮シタカト云フコト

ガ第二點ノ御尋ト思ヒマスルガ、恩給問題トシテ今日考ヘマスル爲ニハ、當時ヨリ殘サレテ居ル所ノ諸般ノ制度ニ付テ、之ヲ抽象的ニ考ヘル外ハナイノデアリマス、諸種ノ方面ノ勤務ニ付キマシテモ、實際ノ勤務ハ、場合ニ依レバ公務ニ至ッテモ居残りモ隨分アリマセウシ、場合ニ依レバ徹夜マデシテ續クト云フ場合モアリマスケレドモ、全體ヲ通ジマシテハ大體制度ヲ抽象的ニ取ッテ、ソレニ付テ恩給制度ヲ考ヘテ行クト云フ外ハアリマセヌ、具體的ニ當時當事者ガ或ル意味ニ於テ任意ニ勤務シタト云フヤウナコトヲ、個別的ニ考ヘルト云フコトハ出來マセヌ爲ニ、恩給制度ノ方カラ考ヘマスル時ニハ、抽象的ニ制度的ニ之ヲ採ッテ參ッテ、恩給ノ方ノ資料トスルト云フヨリ外仕方ガナイト云フ關係カラ、各屯田兵ノ個別的ノ勤務全部ヲ取ッテ判斷ヲ加ヘタ次第デアリマセヌ、尙ホ參考ノ爲ニト云フ御言葉デ、解隊式ハ豫備役カラ後備ニナル時ニ之ヲ行ッテ、現役カラ豫備役ニ入ル時ニハ行ハナカッタト云フ御話デアリマスルガ、是ハ恩給法ノ問題ニハ直接關係ガナイト考ヘマスルガ、サウ云フヤウナ形式ヲ採ッタカモ存ジマセヌノデ、唯之ニ付キマシテハ所謂豫備時代ガ何時ノ豫備ノ時代デアルカト云

フコトニ依リマシテ、幾ラカ考ヘ方ヲ違ヘナケレバナラスノデハナイカト思ヒマスルコトハ、明治二十七年ト記憶シテ居リマスガ、屯田兵條例ニ改正ヲ施シマシタ當時ノ改正ノ理由書ト云フモノガアリマスガ、其中ニモ其豫備ノ點ニ付キマシテ、斯ウ云フヤウナコトガ書イテアル、之ヲ豫備ト云フノ故ヲ以テ教育其ノ他ノ事ニ關シ勢ヒ之ヲ現役ト區別セサルヲ得ス已ニ之カ別ヲ立ツ之カ爲メニ豫備役ハ軍事志操ノ消耗スルモノ殊ニ多キヲ免レ難ク其ノ弊ノ教育上ニ及フ蓋シ少ナラサルモノアリ是レ則チ自今新募兵ヨリ其豫備役ヲ廢スルノ必要ヲ認メタル所以ナリ云々、此以外ニモ尙ホアリマスガ、サウ云フヤウナ理由デ明治二十七年ノ時ニ屯田兵條例ガ改正セラレテ居リマスガ、サウ云フヤウナ譯デ屯田兵ノ豫備役ノ勤務狀態ガ、全然現役ノ勤務狀態ト同ジデアッタト云フコトハ、實質的ニモ實ハ考ヘラレマセヌ、形式ノ上ニ於キマシテ制度ノ上ニ於キマシテハ非常ニ違ッテ居リマスシ、ソレカラ實質ノ上ニ於キマシテモ、是ガ今日ニ於ケル外ノ兵隊ノ一般豫備役トハ餘程違ッテ居ルト云フコトハ推定サレマスケレドモ、併シ當時ニ於キマシテモ現役ト全然同ジデアッタト云フコトハドウモ考ヘ

ラレマセス、隨テ之ヲ恩給ノ問題トシテ、一般現役ノ場合ニ付テ通算ガ認めラレルカラト云ウテ、恩給年限ニ通算スルト云フコトハ行ハレナイコト、考ヘテ居ル次第デアリマス

○林委員 事實ノ問題ニ付テハ個々ノ問題ヲ一々調ベテ考慮シタコトハナイト云フ御答デアリマスカラ、洵ニ已ムヲ得ナイコト、存ジマスガ、私共ハ前議會以來縷々申上ゲデアリマシヤウニ、豫備役屯田兵ノ勤務ノ狀態ト云フモノハ現役ト同様デアッタ、全ク同一デアッタト云フコトヲ固ク申上ゲル譯デハナイ、何カ今日ノ豫備役兵ヲ考ヘルヤウナ觀念デハ、當時ノ屯田兵豫備役ノ期間ノ勤務狀況ト云フモノハ全ク異ッテ居ッタモノデアアル、現役ニ近キ勤務ヲ致シタモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、先ヅ此問題ニ付キマシテハ今日マデノ御調査ナリ御研究ガ其程度デアリマシナラバ、是レ以上論議ヲ致シマシテモ要領ヲ得ナイコトデアリマスカラ、此程度ニ止メマシテ、然ラバ御承知ノ如ク此豫備役期間ヲ恩給ノ年限ニ通算シテ貰ヒタイト云フ請願、或ハ相續戸主ノ恩給通算ノ請願、或ハ恩給年限ニ達セザリシ屯田兵ニ對シテ、其勤務ニ相當セル一時恩給ノ請願、是等ハ兵

役義務者及廢兵優遇審議會ニ於テハ慰藉金ノ支給ニ依テ解決スルト云フコトニ決定シテ居ッタ、無論此内容ハ御承知ノコトカト存ジマス、豫備役屯田兵ノ恩給問題モ之ニ依テ解決スルト云フコトガ適當デアルト云フコトノ恩給局長ノ御考デアリマスカドウカ、全ク考慮シナクテモ宜イト云フコトデアルカ、此審議會ノ決定通り慰藉金ノ支給ニ依テ解決スルト云フコトガ適當デアルト云フ御考デアルカドウカ、之ヲ一ツ明瞭ニシテ置キタイと思ヒマス

○糧食政府委員 恩給外ノ問題トシテ之ヲ如何ニ取扱フベキカト云フコトニ付キマシテハ、私カラ具體的ニ其點ニ付テ申上ゲルコトハ少シ困ル事情ニアリマスガ、兎ニ角此豫備役勤務ガ普通ノ今日ニ於ケル豫備ノ服役期間トハ違フト云フコトハ確ニ認メテ居ル次第デアリマス、ソレハ事實上デアリマスカモ知レマセスガ、制度上ノ問題デナイトハ考ヘテ居リマスケレドモ、今日ノ豫備役期間ニ於ケル所ノ演習召集ナドヨリハ、殊ニ頻繁ニ實際勤務ヲシタ傾向モ推定出來マスシ、又他面ニ於テハ今日ノ豫備服役者ヨリモ幾ラカ多い給與ヲ受ケテ居ッタト云フヤウナ事情モアリマス、此兩面ヲ考慮致シマシテ、適當ニ別ニ處分シテ行クノガ宜カ

ラウト云フコトマデハ考ヘテ居リマス、唯ソレヲ具體的ニ、兵役審議會ノ答申ニアリマシヤウニ、又其當時ニ於テ豫想セラレタ金額ノ通りニ、一時金ヲ給シテ、解決スベキモノデアルカト云フコトニ付キマシテハ、只今主トシテ私ハ恩給方面ノコトニ關シマシテ出テ參ッテ居リマス爲ニ、具體的ニ意見ヲ申上ゲルコトガ一寸出來兼ねテ居リマスガ、只今申シマシタヤウナ譯デ、屯田兵ノ豫備役服役期間ト云フノハ、兩面ニ於テ普通ノ豫備服役期間トハ違ッタ所ガアルト云フコトハ確ニ考ヘテ居リマス

○林委員 陸軍政府委員ニ對シテ御尋ヲシタイノデアリマス、政府委員外ノ御答辯デモ結構デアリマスガ、如何デアリマセウカルコトニナッテ居リマスガ、他ニ差支ガアツテ、三時頃デアレバ出席出來ヨウト云フコトデアリマス、恩賞課長ノ御出席マデ御待チニナッタラドウデスカ

○林委員 簡單ナ事デスガ……

○津崎委員長 今陸軍ノ方ガ一人御出席ニナッテ居リマスガ、御答ガ出來マセウカ

○佐藤陸軍歩兵少佐 出來マス範圍ナラバ御答致シマス

○林委員 兵役義務者及廢兵待遇審議會ニ

於テ、屯田兵ノ四ツノ請願ノ中、過去ノ實際恩給ヲ受クベキ權利ノ發生シタ當時ニ過ッテ支給シテ貰ヒタイト云フ請願ハ考慮スルコトガ出來ナイケレドモ、他ノ三ツノ請願ニ付テハ、屯田兵ノ特殊性ニ鑑ミテ、相當同情スベキモノガアルカラ、百三十萬圓ヲ慰藉金トシテ支給シ、以テ屯田兵ノ問題ノ最後の解決ヲシタイト云フコトガ決定サレテ居リマス、而シテ陸軍省ハ此決定ニ基イテ、毎年大藏省ニ向ッテ豫算ノ要求ヲセラレテ居リマスルガ、大藏省ハ未ダ之ヲ承認致シテ居ラスノデアリマス、隨テ其實行ヲ見テ居ラスノデアリマスガ、陸軍トシテハ昭和九年度ニ於テモ、矢張從來ノ如ク此問題ノ解決ヲ期スル爲ニ、審議會デ決定セラレタ方針ヲ實行スベク、豫算ノ要求ヲナサル御方針デアアルカドウカ、之ヲ伺ッテ置キタイノデス

○佐藤陸軍歩兵少佐 御答致シマス、陸軍ト致シマシテハ成ベク御趣旨ニ副フヤウニ實現ヲ期シタイと思ッテ居リマス、豫算提出云々ニ關シマシテハ、此席デ今直チニ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス

○林委員 アトハ大藏省ノ政府委員ノ御出席ヲ得テ御尋シタイと思ヒマス

○津崎委員長 只今大藏省ノ政府委員ノ出

席ヲ求メマシタ所、決算委員會ヲ外スコト
ガ出來ナイト云フコトデマダ出席ニナリマ
セスガ、モウ一遍交渉サシテ見マスカラ、
其結果ニ依テ何レカ御決メヲ願ヒタイと思
ヒマス

○小林委員 私ハ第九條ノ恩給ヲ受クル權
利ノ消滅スル場合ニ付テ伺ヒタイ、特ニ第
九條ノ第二號ニ相當スル、即チ刑事處分ヲ

受ケタ爲ニ權利ノ消滅スル場合、此點ニ付
テ政府ニ一寸御伺シタイと思ヒマス、從來
六年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ處セラレタル
場合ニハ、恩給ヲ受ケル權利ガ剝奪サレル
コトニナッテ居リマス、改正案ニ於テハ非
常ニ嚴格ナ規定ニナッテ居リマシテ、普通ノ
場合デハ二年ヲ超エル場合、而シテ在職中
ノ職務ニ關スル犯罪ニ付テハ、禁錮ノ言渡
ヲ受ケテモイケンイ、斯ウ云フコトニナッ

テ居ルノデアリマスガ、是ハ大分嚴格過ギ
ルノデハナイカト云フ疑ヲ持ッテ居ルノデ
アリマス、仍テ先ヅ第一ニ御伺シタイノハ、
在職中ノ職務ニ關スル犯罪、斯ウ云フ風ニ
書イテアリマスガ、此在職中ノ職務ニ關ス
ル犯罪ト云フ意味ハ、犯罪構成事實ノ要素
トシテ、職務ニ在ルコトガ必要デアル場合
デアルカ、或ハ常識的ニ見テ、苟モ職務ニ
關スルト云フ事ガ想像シ、斷定シ得ル場合

ナラバ全部含ムト云フ意味デアリマスカ、
其點ヲ先ヅ御伺シタイと思フ、即チ現行刑
法ノ瀆職ノ章ニ規定シテアリマスヤウナ、
特ニ公務員タル身分ヲ要スル犯罪ト云フ意
味デアルカ、唯單純ニ苟モ公務員ニ在ッテ、
少シデモ其職務ニ關スル事ニ付テ犯罪ガ行
ハレタ場合デアルカ、一寸疑ヲ生ジマスカ
ラ此點ヲ御伺シテ置キタイ

○樋貝政府委員 職務ニ關スル犯罪ト申シ
マスノハ、只今御尋ノアリマシタ御言葉ノ
中ニアリマシタ職務ニ在ルト云フコトガ犯
罪構成要素ノ一ツニナリマス場合バカリニ
限定シテ趣旨デハナイノデゴザイマス、苟
モ或ル職務ニ在職ヲシテ居リマシテ、ソレ
ト關聯ヲ有ッテ居ルヤウナ犯罪ニ付キマシ
テハ、具體的ニサウ考ヘラレル犯罪デアレ
バ、此中ニ包含スル趣旨デゴザイマス

○小林委員 サウシマス、例ヘバ公務員
ガ自分ノ預ッテ居ル金ヲ使ッタト云フ、是ハ
職務上ノ横領ニナルノデスガ、コンナ場合
ハ無論今ノ御答ノ趣旨カラ言ヘバ含ムコト
ニナルと思ヒマス、是ナドハ餘程問題ハナ
イト思ヒマスガ、例ヘバ技術員ガ地方ヘ出
張シテ、宿屋ニ泊ッテ居ッテ或ル犯罪ヲ犯ス、
コンナ場合モ矢張職務ニ關スル事ニナリマ
スカ、例ヘバ出張中ニ誰カト毆合ヒノ喧嘩

ヲシタ、或ハ人ニ怪我ヲサセタト云フ場合
モ、矢張公務員ガ公務員トシテノ職務執行
中ニ行ヒ得ルコトデアリマスカラ、サウ云
フ廣イ意味カラ解釋スレバ、殆ド總テノ犯
罪ガ含マレルト思ヒマスガ、ドウ云フ點デ
見境ヲ付ケルノデアリマスカ

○樋貝政府委員 只今御質問ニナリマシタ
出張中ニ人ヲ毆タヤウナ場合ニ、職務ニ
關スル犯罪ニナルカト云フ御尋デアリマス
ガ、サウ云フヤウナモノハ無論入ラス積リ
デアリマス、職務ノ執行ト時ヲ同ジクシテ
居ルト云フコトダケニ依リマシテ、職務ニ
關スル犯罪トハ考ヘナイ積リデアリマス、
職務ト——在職ト云フコト、實際因果關
係ヲ認メラレル限度ニ於キマスル犯罪バカ
リガ、所謂職務ニ關スル犯罪ト考ヘテ居リ
マス、偶唯時ガ同ジデアッタト云フコトダ
ケデ、是ニハ入ラス積リデ居リマス、先程
モ一ツ御尋デニナリマシタ業務上ノ横領ナ
ドハ之ニ入ル趣旨デゴザイマス

○小林委員 サウスルト頗ル明快ヲ缺クコ
トニナリハシナイカト思ヒマス、今ノヤウ
ナ場合デモ、職務執行中デハアルガ、ヤッタコ
トハ、役人トシテヤッタコトデナイカラ、同
時ニヤッタコトデナイカラ、職務ニ關スル犯
罪デハナイト仰シヤルナラバ、業務上ノ横

領デモ、自分ノ預ッテ居ル金ヲ使フ場合ハ、
職務執行中デハナイ、其時ハ私人トシテノ
關係デヤッタコトデアルカラ、職務執行中ト
ハ言ヘマイ、ソレナラバ、役人ガ役所ニ居ッ
テ役所ノ紙ヲ家ニ持ッテ歸ル、或ハ役所ニア
ル書物ヲ家ニ持ッテ歸ルト云フ場合ニハ、無
論含マレスコトニナルト思ヒマス、サウ云
フコトニナルト、非常ニ限定サレタコトニ
ナル、解釋上非常ニ困難ナ場合ガ起ルト思
ヒマスガ、如何デアリマスカ

○樋貝政府委員 何レノ場合ニ於キマシテ
モアリ得ルヤウニ、其限界點ニ至リマス、
何レニ屬スルカト云フコトガ、非常ニ判定
ニ苦シム場合ガ生ジ得ルトハ考ヘテハ居リ
マスルケレドモ、今申上ゲマシタヤウナ考
デ、職務ト犯罪トノ間ノ相當因果ノ關係ガ
推定出來マスル限度ニ於テ、之ヲ區別スル、
抽象的ニハ區別ノ標準ガ立チ得ルト考ヘテ
居リマス

○小林委員 細カイ質問ハ致シマセスガ、
要スルニ私ハ結局解釋上ノ問題トシテハ、
多クノ場合ニ職務上ノ犯罪ガナイト云フコ
トニナリ易クナルカラ、結局構成要件トシ
テ身分ヲ必要トスル場合ノミニ實際ハ限ラ
レルヤウニナッテ來ルノデハナイカト思フ、
サウナッテ來マスルト、現在ノ瀆職罪ノ規定

デハ、御承知ノ如ク公務員ニ對スル犯罪ト云フモノハ、禁錮、罰金刑或ハ懲役ノ選擇權ヲ持ツテ居ラス、大體體刑ニナツテ居ル、ソコデ一方隨分非常識ナ檢事ナドガアリマシテ、僅カナ金デ以テ公務員ガ起訴サレル實例ハ非常ニアル、土木ノ技術員ナドモ出張シテ居ッテ、殆下自分ハ過失ト云ツテ宜イ程度位シカ認識ノナイヤウナコトデ一杯御馳走ニナル、或ハ豫期シナイ所へ藝者ガヤッテ來テ、藝者ノ響應ヲ受ケルト云フヤウナコトデ、單純ナ二十圓ダノ三十圓ダノト云フヤウナ問題デ起訴サレル實例ガ隨分アリマス、而モ新シク變ヘタ條項ノ中ニハ、過失犯ハ除クト云フコトニナツテ居リマスガ、御承知ノ如ク過失犯ト、所謂故意ノ中デモ未必ノ故意ト言ハレル故意トハ全ク紙一重デアル、水天髻鬚間一髮ト云ツタヤウナ見境ノ付カヌ問題ガアル、過失ヲ一寸出タカ入ッタカト云フ問題ハ、要スルニ人間ノ認定ニ依テ決セラレル、ソシテ僅カ二十圓ヤ三十圓ノ問題デ非常識ナ檢事ニ依テ起訴サレテ、サウシテ多年働イタ恩給ノ權利ヲ失ッテシマフ、而モ一方ニ於テハ職務ニ關シサヘシナケレバ、強姦ヲヤラウガ、或ハ詐欺横領ヲヤラウガ何等影響ハナイト云フコトニナツテハ、私極メテ權衡ヲ缺クト思フ、而モ陸

軍刑法、海軍刑法ニ至ッテハ一年未滿ノ禁錮ナラ差支ナイト云フコトニナツテ居リマシマスガ、是ハ恐ラク軍部ニ於ケル刑法ト云フモノガ、特ニ今刑ガ重イカラスウ云フ風ニシテアルダラウト思ヒマスケレドモ、サウ云フヤウナ點ヲ考ヘマスト、單純ニ禁錮ノ刑ニ處セラレタ場合ト云フヤウニシナイデ、此際期間ヲ決メルコトガ、現在ノ檢事ヤ裁判所ノ狀態カラ見ルト、公平デハナイカト私ハ考ヘルノデスガ、何カ其點ニ付テノ根據ガアルナラバ、示シテ戴キタイト思フ

○樞員政府委員 現在ニ於キマスル刑罰ノ實際ガドウナツテ居ルカ、此點ニ付キマシテハ或ハ今御質問ニナリマシタ御言葉ノ中ニアルカモ存ジマセヌガ、恩給法ニ於キマシテハ、例ヘバ斯ウ云フヤウナ犯罪ニ於キマシテモ、或ハ又場合ニ依リ職務ニ關シナイ犯罪ニ於キマシテモ、是ガ在職中ニ刑ガ言渡サレルヤウナ場合ニ於テハ、當然失格ヲ來スノデアリマス、是ハ現在ニ於キマシテ、既ニ其規定ニナツテ居リマスガ、ソレトノ振合上カラ申シマスルト、早ク辭職シテシマツテ、刑ノ言渡ガ辭職後ニナレバ、全ク同ジヤウナモノデモ、一方ニ於テハ恩給權ヲ失ハナイ、他方ニ於テハ恩給權ヲ失フト云フヤウナ兩様ノ差別アル場合ガソコニ現レテ

參リマスノデアリマスガ、公平ノ上カラ申シマシテモ、此改正ノヤウニスルノガ適當デアル、其場合ニ職務ニ關係ナイヤウナ犯罪、今御舉ゲニナリマシタ喧嘩ヲシテ人ヲ傷ケテ、懲役又ハ禁錮ニ處セラレタト云フヤウナ場合ニデモ、尙ホ之ニ取入レルコトガ相當デアルカト考ヘマスト、是ハ必シモサウ考ヘラレマセヌ、既ニ辭メマシタ後ニマデ追窮スルコトハ相當ト致シマセヌ、又斯ウ云フ規定ヲ置キマスノハ、主ニ官紀事務ノ方面カラ參リマスカラ、斯ウ云フ程度デ宜シイ、斯ウ云フヤウニ考ヘラレルノデアリマスノデ、提案ノヤウニ致シタ次第デアリマス

○小林委員 只今御伺シタ點ニ於テ、政府ノ持ッテ居ラレル御意見ダケハ能ク分リマスガ、私ハ現在ノ裁判ノ實例カラ考ヘマシテモ、亦犯罪ヲ犯シタ者ハ政府ノ役人カラ見ラレルト直グニ排斥セラルベキモノ、ヤウニ考ヘラレル從來ノ考カラ當然ダト思ヒマスルケレドモ、必シモサウ云フモノデハナイ、サウ云フ過失ニ近イヤウナ場合デ、事情洵ニ同情スベキヤウナ場合モアルノデアリマスカラ、私ハ今ノ恩給年限ガ十五年カラ十七年ニ、僅カ二年延長サレタト云フ點カラ見マシテモ、從來六年未滿ト云フコト

デ、六年以上デナケレバ剝奪サレヌト云フヤウナモノデアッタノガ、斯ウ云フ簡單ナ嚴格ナモノニ依テ奪ハレルト云フコトハ考ヘモノダト思フ、公務員諸君ガ立派ナ方デアルヤウナ考デ仰シヤルノデアルカラ、サウ云フ考デ政府ノ方ガ御出デニナレバ、是ハ意見ノ相違デスカラ、ソレ以上ハ申上ゲマセヌケレドモ、頗ル考ガ狹過ギルト私ハ考ヘマス、殊ニ此規定ニ依リマス「但シ其ノ在職カ普通恩給ヲ受ケタル後ニ爲サレタルモノナルトキハ其ノ再在職ニ因リテ生シタル權利ノミ消滅ス」斯ウ云フ規定ニナツテ居リマスカラ、恩給年限ニ達シテ、若シ誤ッテ斯ウ云フヤウナコトニ觸レテ權利ガ消滅スルト困ルト云フコトヲ考ヘルト、一般ノ官吏ハ一遍此處デ一寸間ヲ切ッテ置イテ、サウシテ更ニ續ケタ方ガ安全ダト云フ方法ニ出ル者ガ、相當出テ來ルノデハナイカト云フ心配ヲ持チマスガ、サウ云フ點ハ心配ハアリマセヌカ

○樞員政府委員 只今ノ點ハ心配ニナラナイト私ハ考ヘテ居リマス、ソレハ在職中ニ自分ガ職務ニ關スル犯罪ヲヤリマシテ、今ニ是ハ下手ヲスルト刑罰ニ處セラル、ト云フコトヲ考ヘテ、早ク罷メマシテモ、ソレハ其ノ職務ニ關スル犯罪ト致シマシテ失權

致シマスカラ、是ハ問題ニナリマセヌ、既ニ前ニ其汚レナシニ勤務致シマシテ、サウシテ普通恩給ヲ貰フテ居リマシタ者ハ、二年ヲ超ユル體刑ヲ加ヘラレタ場合デナケレバ、普通ノ場合ニ於テモ失權致シマセヌノデ、サウ云フヤウナ場合ニハ二度ノ勤ヲシタ場合デモ先ニ恩給ヲ棒ニ振ルト云フコトニ無論ナッテ參リマセヌノデ、ソレガ其場合ダケヲ失權サセレバ、先ニ綺麗デアッタ在職當時ノ既得ノ一ツノ恩給ノアリマシタ者ヲ、後ノ在職中ノ職務ニ關スル犯罪ヲヤリマシテ、ソレガ爲ニ前ノ方ノモノマデ失ハシメルト申シマスルノハ、公平デナイノデアリマシテ、是デ宜シイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○小林委員 再在職ノ場合ニ後ノ分ダケ無効ニスルコトニナッテ居リマスガ、是ナラ私ハ寧ロ趣旨ヲ一貫シテ、此場合ニモ全部ヲ失ハセルコトニシテ、單ニ二年以上ナラ二年、二年以上ナラ一年以上トシタ方が、現在ノ社會狀態ニ極メテ合フノデハナイカト思ヒマス、是ハ意見ノ相違デアリマスカラ是レ以上ハ申シマセヌガ、刑ノ執行猶豫ヲ受ケタヤウナ場合ニハドウ云フ風ニナリマスガ、是ハ私ガ見當ラヌノカモ知レマセヌガ、刑ノ執行猶豫ヲ受ケテ居ル間ハ恩給ヲ

受ケル譯ニハ無論ナラナイダラウト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニナッテ居リマスカ

○樋貝政府委員 刑ノ執行猶豫ノ言渡シヲ受ケマシテモ、此分ニ關シマシテハ失權スルコトニナリマス、ソレハ現在官ニ在リマス者ガ在官中ニ刑ガ言渡サレマスルト、執行猶豫ノ言渡シガ付イテ居リマシテモ失官致シマシテ、其場合ニハ恩給ニナリマセヌ、ソレトノ釣合カラ申シマシテモ、執行猶豫ノ言渡ガアリマシテモ、犯罪アツタモノトシテ、官紀事務ノ上ニ於キマシテハ同様ニ取扱フ譯デアリマス、刑罰トシテハ執行猶豫ノ言渡シガ附イテ居ルノデ、幾分違ヒマスガ、官紀事務ノ方ハサウハナリマセヌ

○小林委員 サウシマススト云フト、猶豫期間中ヲ完全ニ過シテモ、苟モ一遍有罪ノ判決ヲ言渡サレタノデアリマスカラ、執行猶豫期間中デアッテモ、猶豫期間中ヲ完全ニ過シテモ、恩給ヲ受ケル權利ハ全部消滅スルヤウニナルト思ヒマスガ、サウナルト私ハ隨分酷ダト思フ、例ヘバ起訴猶豫位ニシ得ベキヤウナ官吏ノ瀆職罪ヲ隨分非常識ナ檢事ノ手ニ依テ起訴サレテ居ル、是ハ實例ガアリマス、役人ヲ罷メサセテ置ケバ、退職デモサセテ置キサヘスレバ濟ムヤウナ事案ヲドシ〜起訴シテ、裁判所ニ依テ隨分

不公平ガアリマスカラ——非常ニ能クサウ云フ點ノ分ッテ居ル裁判所ニ於テハ無暗ニ起訴ハシマセヌケレドモ、隨分田舎ナドニ行キマス、ソレハ司法省ノ役人ガ見ラレテモ酷ダト思フヤウナ起訴ガアルノデス、殊ニ瀆職罪ナドニ至ッテハ隨分極端ナモノガアリマス、サウ云フモノガ隨分誤ッテ起訴サレテ、無罪ノ判決ガ出來ヌカラ執行猶豫ヲ言渡ス、本人モ非常ニ改過遷善シテ正シイ道ニ進ンデ行カウト云フノデアッテ、裁判所モ執行猶豫ノ言渡ヲシ、サウシテ二年間ナラ二年間ノ猶豫期間ヲ完全ニ過シタト云フヤウナ場合デモ、今マデハ六年以上デナケレバ宜カッタケレドモ、忽チ此法律ガ出來タ爲ニ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケテモ既ニ失ハレルト云フコトハ、ドウモ恩給年限ノ延長僅ニ二年ニ比較シテ、餘リニ酷過ぎルト私ハ思フノデス、是ハ要スルニ私ノ議論ニナルカモ知レマセヌケレドモ、現在ノ裁判所ノヤリ方トシテハ極メテ氣ノ毒ナ人ガ出ヤシナイカト思フ、政府ハサウ云フ御考ハ全然ナイノデアルカ、ソレトモ是デ十分ダト云フコトデアレバ、是レ以上ハ私ノ意見ニナルカラ申上ゲマセヌ

○樋貝政府委員 起訴ガ相當デアルカ、不相當デアルカノ場合ハ色々アルト思ヒマスケレドモ、苟モ裁判所ガ犯罪ノ事實ヲ認定シ、サウシテ之ニ刑ヲ言渡スト云フ程度ノモノデアリマスルナラバ、官紀事務ノ方ト致シマシテハ、之ヲ無視スル譯ニハ參リマセヌ、隨テサウ云フモノガ恩給ノ權利ヲ失フト云フコトハ當然ノヤウニ政府デハ考ヘテ居リマス

○林委員 大藏當局ハ御出席ニナリマセヌガ、私ハ委員長ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、ソレハ前回ノ本委員會ニ於キマシテ、私ハ委員長ニ斯様ナコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、主計局長ニ對シテ御答ヲ求めタ、審議會ニ於テ決定シタ所ノ屯田兵ノ一時金ノ問題、是ハ陸軍省カラ豫算ヲ要求セラレテ居ルケレドモ、大藏省ハ之ヲ承認シナイカ、是ハ何時カラ實行スル積リデアアルカ、此豫算ヲ承認スル積リデアアルカト云フ意味ノ御尋ヲシタノデアアルガ、遂ニ之ニ對シテハ言明ヲ避ケラレタノデアリマス、ソコデ委員長ニ向ッテ斯様ニ希望シテ居ルノデアリマス、是ハ主計局長ハ今左様ナ御言明ガ出來ナイニシテモ、尙ホ大藏部内ニ於テ此問題ニ對シテノ議ヲ練ラレ、此委員會中ニ於テ今少シ此問題ニ同情ノアル、誠意ノアル御答辯ヲ得ルヤウニ委員長カラ特ニ御諮リヲ願ヒタイノデアリマス」此事ヲ希

望シテアルノデアリマスルガ、何カ大藏省ノ方カラ此事ニ付テ御話ガアッタデアリマセウカ、此點ヲ伺ヒマシテ尙ホ申上ゲタイト思フノデアリマス

○津崎委員長 御答致シマスガ、林君ノ御要求ニ對シマシテハ、委員長トシテ大藏當局トモ交渉致シテ見タノデアリマス、然ルニ大藏當局トシテハ此場合ソレヲ何時カラヤルカト云フヤウナコトヲ言明スルコトハ憚ル、斯ウ云フヤウナ御答デアリマシテ、段々交渉シテ居リマス中ニ諒解シマシタ事ハ、大藏當局トシテモ此問題ニ對シテハ相當同情ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス

レドモ、大藏當局タル立場ノ上カラ、此席デサウ云フコトヲ言明スルコトハ色々差障リモアルシ、出來ナイト云フヤウニ聞エタノデゴザイマス、交渉致シマシタガ、返事ハ或ハ前ト同ジコトカト思ヒマスルガ、サウ云フ事情デアッタコトヲ御了承願ヒタイト思ヒマス

○林委員 此場合陸軍當局ニ特ニ御願ヲ致シマシテ此問題ノ質疑ヲ打切りタイト思ヒマス、先刻陸軍當局ノ御答辯ニ依リマシテ、此屯田兵ノ優遇ノ問題ハ、極力其解決ニ努力スル積リデアアル、但シ昭和九年度ニ於テ豫算ヲ要求スルカドウカト云フコトニ付テハ言明ガ出來ナイト云フ御話デアリマシタケレドモ、審議會決定以來毎年陸軍トシテハ、此實現ニ御努力下サレ、又豫算ノ要求モシテ參ラレタノデアリマスルカラ、陸軍ニ於カレテハ是非共昭和九年度ニ於テ此問題ノ實現ヲ期スルヤウニ、豫算ノ要求ヲシテ戴キ、サウシテ熱意ヲ以テ其實現ヲ期シテ戴キタイコトヲ希望致シマス、而シテ此問題ニ付テハ尙ホ大藏當局ノ答辯ヲ得マセヌカラ、洵ニ遺憾デハアリマスルガ、委員會ハ此點ニ觸レテ政府ニ對シテ強キ希望ヲ附セラレンコトヲ、此場合私カラ希望致シテ置キマス

○津崎委員長 モウ質疑ハ別ニアリマセヌカ
〔質疑ナシ〕ト呼フ者アリ
○津崎委員長 ソレデハ質疑ハ是デ打切りマシテ討論ニ入りタイト思ヒマス
○匹田委員 此恩給法改正案ノ提案ノ趣意ハ、恩給額ガ年々累増致シマシテ、七年度ニハ約一億五千萬圓ニ達シ、尙ホ年々累増ノ傾向ニアルト云フコトヲ考ヘマシテ、恩給ト財政ノ調和ヲ圖リ、ソレト同時ニ受給者ノ側ヨリ見テモ、給與ガ甚ダ薄クシテ、不備ノ點ガ少クナイカラ、恩給法中不合理ナ點、又ハ餘裕ヲ存スル點ヲ整理シ、年々

恩給額ノ累増スル傾向ヲ防止シ、且ツ事情ノ許ス限り公務傷病者其他ノ者ノ給與ニ付テ改正ヲ企テタイト云フコトガ、提案ノ理由ノ中ニ載ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ此提案ノ理由ヲ見マシテ、同時ニ改正案ヲ檢討致シテ見マスルト、尙ホ甚ダ徹底ヲ缺クノ點モ少クナイノデアリマス、殊ニ低額ノ受給者ノ給與ニ付テハ、生活ノ最小限度ノ保障ヲ與フルニ足ラナイヤウナ事情ガアリマシテ、洵ニ憫ムベキ者モ多アルノデアリマス、由來恩給制度ニ付テハ根本的ニ改正ヲ加フベキ點ガアルト存ジマス、故ニ私ハ茲ニ此改正案ニ對シマシテ贊成ヲシテ、之ヲ可決スルト同時ニ、一ツノ附帶決議ヲシタイト思ヒマス、之ヲ朗讀致シマス

附帶決議

恩給制度ニ關シテハ尙根本的ニ考慮ヲ要スルモノアリ而シテ本改正案ハ社會政策的見地ヨリスルモ不備ノ點尠シトセズ政府ハ宜ク適當ナル對策ヲ講ズベシ
此附帶決議ヲ附ケテ本案ヲ可決シタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ委員會ニ於ケル委員諸君ノ御質問ノ中ニ現レマシタ所ノ御意見ナドニ徴シマシテ、又之ニ對スル政府委員ノ説明ナドモ拜聽致シマシテ、茲ニ最モ適當ナリト考ヘマス所ノ條項ヲ、希望條項ト

シテ茲ニ申述べテ置キタイト思ヒマス

希望條項

一、戰公傷病死者及傷病軍人ノ遺族扶助料中下級者ニ對シテハ其ノ最小限度ノ生活ヲ保障スルニ足ルヘキ増額ヲ必要トス

二、一時賜金傷病軍人ニ對スル傷病年金制度ノ制定ハ適當ト認ムルモ尙増加恩給者トノ均衡ニ付テハ考慮ヲ必要トス、增加恩給額ハ症項差額過少ニシテ階級差額過大ナク考慮ヲ要ス

三、大正十二年十月以前ニ死亡シタル傷病者ノ寡婦ニシテ兵籍簿ニ登錄ナカリシ者ニ對シテハ速力ニ調査ヲ了シ扶助ノ方法ヲ講セラレタシ

四、北海道屯田兵恩給問題ニ付テハ同兵役義務ノ特殊性ニ鑑ミ同情スヘキモノアリト認メタル兵役義務者及廢兵待遇審議會答申ノ通速力ニ相當ノ一時金ヲ支給シテ最後ノ解決ヲ爲スヘシ

五、政府ハ恩給金融ニ關シ速力ニ適當ナル方法ヲ講セラレタシ

六、政府ハ常ニ恩給金交付ノ狀況ヲ嚴密ニ調査シ苟モ不當交付ナカラシムルコトニ努ムヘシ

是ダケノ希望ヲ述べテ置キマス、此只今述

ベマシタ希望條項ハ何レモ國民ノ聲デアリマス、殊ニ今や重大ナル時局ニ際シテ、我が忠勇ナル軍人ハ滿洲、蒙古ノ野ニ困苦缺乏ニ堪ヘテ匪賊ト戦フテ居ルノデアリマス、是等ノ者ノ士氣ヲ鼓舞スル爲ニモ洵ニ必要ナル方法デアルト信ズルノデアリマス、宜シク御賛成ヲ願ヒマス

○山杣委員 私共モ亦只今御説明ニナリマシタ附帶決議ヲ附シマシテ本案ニ賛成ヲ致ス者デアリマス、尙ホ六項目ノ希望條項ニ付キマシテモ、吾々ハ之ヲ適當ナル希望デアルト考ヘルノデアリマス、私共出來得ベクンバ是ダケノ希望ノ問題ヲ此恩給法ノ改正案ノ中ニ織込シテ、更ニ之ヲ修正致シタイ位ニ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、彼此種々複雑デアリマシテ、議會中ニ之ヲ作製スルコトガ困難デアルト思ヒマスカラ、此希望ヲ政府ニ申述ベテ置キマスカラ、政府ニ於テ此希望ノ趣旨ニ副ハレルヤウニ願ヒタイト思フノデアリマス、私共ハ本案ニ賛成ヲ致シマス

○後藤委員 本案ニ付キマシテハ匹田委員、山杣委員カラ只今御述ベニナリマシタ同様ニ、附帶決議及希望條項ニ對シテ賛成ヲスル者デアリマス、既ニ大體吾々ノ言ハントスル所ハ述ベラレマシタニ依テ、多ク申

サナイノデアリマスガ、希望條項ノ中ニ於キマシテモ、第一第二ノ條項ハ特ニ必要デアルト考ヘルノデアリマス、第一ノ條項ニ付キマシテハ、隨分此方面ノ人々ハ悲痛ナル叫ビヲ擧ゲテ努力ヲ致シテ居ルコトモ、吾等十分承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、或ハ斯ウ云フ希望者カラ見マスレバ、尙ホ吾等ノ同情ガ足りナイカノ如クニモ考ヘラレルノデアリマシテ、今山杣委員ノ言ハレタ如ク吾々ハ之ヲ修正シタイト考ヘテ居ッタノデアリマスガ、中々修正ノ技術ガムヅカシイ爲ニ今回ノ修正ハ間ニ合ハスト考ヘマスノデ、吾々ガ此希望條項ニ賛成ヲスル譯デアリマス、第二ノ症項差額ト階級差額ノ點デアリマス、是モ今日非常ニ注視スベキコトデアラウト考ヘマスノデ、是等ノ點ニ付キマシテハ特ニ修正ヲ吾々ガ致シタト云フ程ニ御考ヘ下サイマシテ、是非トモ是等總テノ希望條項ガ實現スルヤウニ、當局ノ御誠意アル御努力ヲ御願致シマシテ、サウシテ本案ノ附帶決議及希望條項ニ賛成ヲ致シマス(拍手)

○津崎委員長 討論ハ終局致シマシタ、是カラ採決致シマス、本改正案ニ對シテ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○津崎委員長 御異議ナシト認メマス、可決致シマス——ソレカラ附帶決議ニ付テ採決致シマス、本案ニ對スル匹田君ヨリ御提議ノ附帶決議ニ付テ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○津崎委員長 御異議ナシト認メマス、全會一致可決致シマシタ——次ニ希望條項ニ付テ採決致シマス、此六項目ノ希望條項ニ付キマシテハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○津崎委員長 御異議ナシト認メマス、可決致シマシタ、是デ恩給法改正ノ委員會ハ終了致シマシタ、御苦勞デゴザイマシタ、是デ散會致シマス

午後三時三十三分散會